

## 鬼はみんな恐いの！？

5歳児

1月

○**ねらい** 自分の見方を広げるとものの見方が変わることを体験する。友達を大切にしたいという思いやりの心を育む。

○**内容** 1) 鬼の絵本を読んだり、鬼の像を見たりして、いろんな鬼がいることを知る。

2) 鬼の塗り絵をしたり、鬼の絵を描いたりして、自分のイメージを伝え合う。

3) “♪おそすぎないうちに”の歌詞の意味を味わって歌い、発表会で披露する。



【絵本&園外散歩】いろんな鬼がいることを知ろう！

絵本や紙芝居を読み聞かせし、昔話に出てくる鬼はほとんどが怖いイメージであることに気付く。次に、様々な色の鬼や表情豊かな鬼が出てくる絵本を見せ、怖い鬼ばかりではないことを知る。また、園バスで岐阜市玉性院に出かけ、交通安全を見守ってくれている大きな鬼の像や、金棒を持っているが愛嬌がある表情をしている鬼を見物する。

【描画&発表】イメージした鬼を描いて、みんなにお話ししてみよう！

イメージした鬼を思い思いに描き、みんなで作品の鑑賞会をする。よく見かける赤鬼・青鬼だけではなく、ピンクや黄色・黄緑など淡い色をした鬼、角にリボンが付いていたりにっこり笑っていたりする鬼を表現する。「この鬼はどんな鬼？」と問いかけ、「お酒落が好き」「いっぱい笑う」「踊るの大好き」と各々のイメージを話す。さらに、友達の絵に興味を持ち、「これ可愛いね」「あれ面白い」と伝え合ったり、友達の発想を自分の絵に加えて描き直したりする。

【歌唱&発表】“♪おそすぎないうちに”（中山真理作詞・作曲）をみんなで歌い、発表会で披露しよう！

「今、自分の身近にいる人達を大切に出来ている？」と問いかけたり、「誰にでも優しくする気持ちを大切にしてみんなで幸せになろう」という歌詞の一語一語を味わいながら歌って聴かせたりして、この曲の魅力を伝える。歌詞の一語について問いかけたり、「自分たちは出来ているかなあ」と振り返る時間を設けたりする。こども達も実際に歌ってみることで、「なんか、じーんとするね」と話す子や涙を流す子、普段の自分を振り返る姿がみられる。発表会では、誰かにこの思いを伝えるつもりで他の園児や保護者の前で披露する。人前で表現することを通して、「みんなに優しくする」「みんなで幸せになる」という心情が、子どもたちと保護者の間で響き合う。

環 境	教員・保育士の支援
【絵本】様々な鬼が登場する絵本や紙芝居	→「どんな鬼がいた？」「どんな表情？」と問いかける。
【園外散歩】玉性院の下見をして危険箇所のチェック	→鬼の像をじっくり観察するように伝える。
【描画】塗り絵用と白画用紙・クレヨン、掲示場所設定	→自分のイメージを大事にして描くように伝える。
【歌唱】歌詞カードの掲示、魅力的なピアノ伴奏	→この歌詞の意味を味わえるように、表現を通して伝える。

## ○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

(幼稚園教育要領・保育所指導指針・幼保連携認定こども園教育・保育要領より)

健康な心と体	○	思考力の芽生え	○
自立心		自然との関わり・生命尊重	
協同性	○	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	
道徳性・規範意識の芽生え		言葉による伝え合い	
社会生活との関わり		豊かな感性と表現	○

## ○小学校生活とのつながり

生活面：人の言動に対して多面的な見方をしようとする態度を育てる。

学習面：絵や音楽で自分なりに表現することで、人と響き合うことができることを体験する。